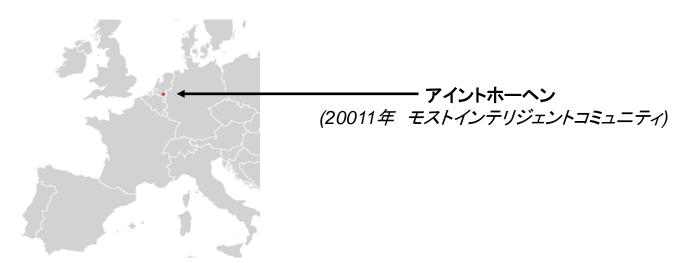
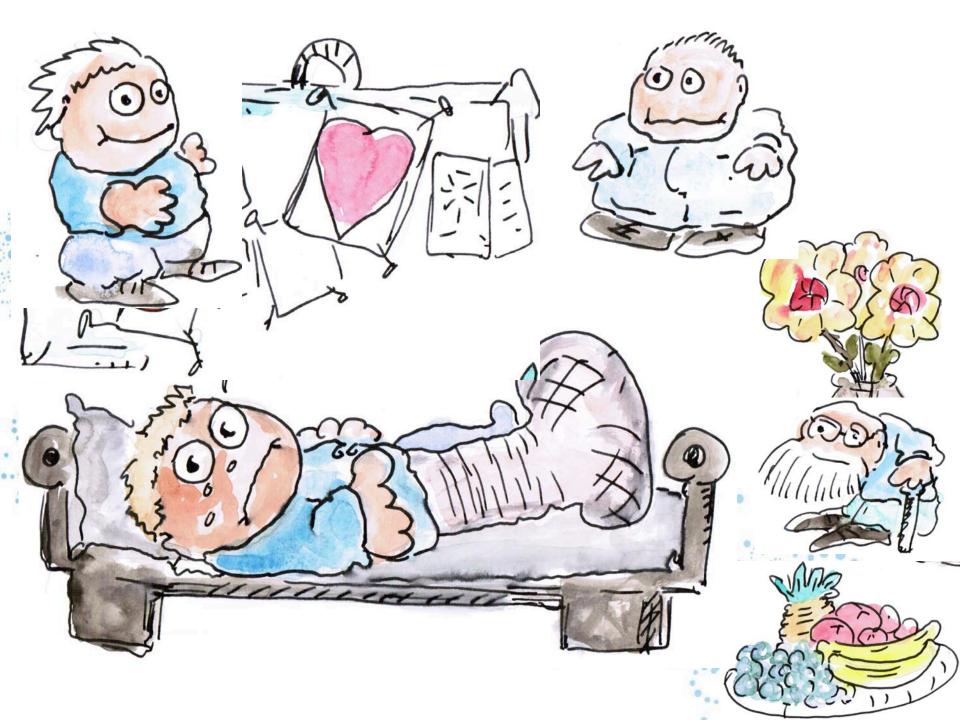


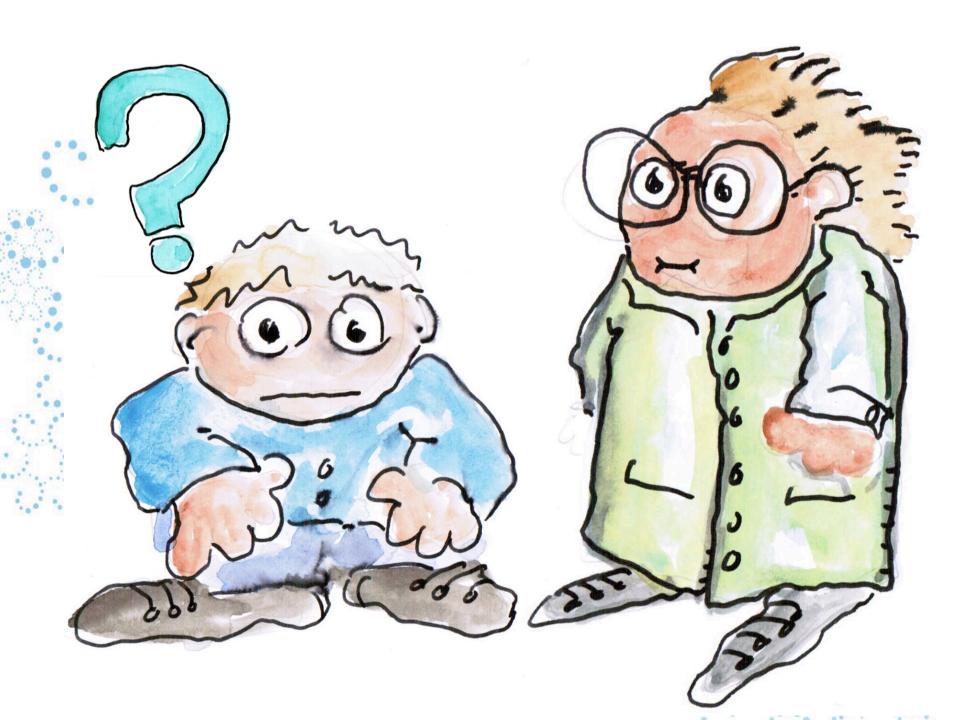
ヨラーン サンテゴーツ 世界精神医療ユーザーサバイバーネットワーク共同議長 www.wnusp.net



サイドイベント: "障害者のインクルージョンに向けた地域の変革" 2013年7月13日 - 障害者権利条約締約国会議 - ニューヨーク













"私達自身の力"

オランダの ファミリーグループカンファレンシングの ための組織



・ 僕と一緒に考えてくれる.....?



• 僕と一緒に考えてくれる.....?



- 精神保健は幸福な状態
- 障害は個人の人の中ではなくて地域に存在する
- 心理社会的: 常に主に社会
- ・ 求められるのは: 社会的地域に根ざしたアプローチ 排外からインクルージョンへ

アイントホーヘンモデル

- 強制的精神医療のオルタナティブとしてのファミリーグループカンファレンシング
- 本人の望む解決策を見つけることが目的
- オランダはまだ障害者権利条約を批准していない
- アイントホーヘンモデルはオランダの「強制的精神保健ケア」の新たな法案に対抗するのユーザーによる回答



ファミリーグループカンファレンシング

• FGCはどのように機能するのか:

第一段階:

付託

第二段階 準備 第三段階:

会議:

-情報提供 -プライベイトファミリー タイム -計画の合意 第四段階:

モニタリング そして 計画の検証

Family group conference model (Source: Hayes & Houston 2007, p. 995).

ファミリーグループカンファレンシング

利点を幾つか:

- 枠組みや条件を伴ってもなくても適用できる
- すでにある専門性や資源を活用する
- 公式非公式の体制をつなぐことができる
- 実践的で有益な計画
- 地域に根ざしインクルーシブである
- 自発的なものだけ
- ・ 強制的介入を始める代わりに本人の望む解決策と 支援を定める

精神保健ケアにおける ファミリーグループカンファレンシング

- ・オランダのパイロットプロジェクト
- 3つの地域で、大学による研究プロジェクト (VUMC)
- 強制的介入に対する(それを避ける)オルタナ ティブの提供
- ・地域精神保健ケア

ファミリーグループカンファレンシングの枠組みと条件

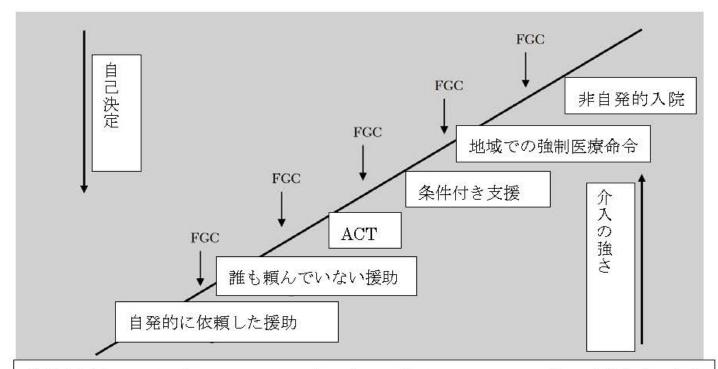
• 一般的に安全に関する事柄

- 参加者が合意して、そのゴールに向けて積極 的に参加する時にのみ
- 強制的ファミリーグループカンファレンスはありえない

• 地域で共に生きていく方法を一緒に追究する

ファミリーグループカンファレンシング

精神保健ケアでのさまざまな意思決定の機会に おいて自己決定を可能にする:



強制を避けるツールとしてのファミリーグループカンファレンス 介入が増大するとき (自発的に依頼した援助から非自発的入院まで)自己決定は減っていく

結論

ファミリーグループカンファレンシング:

- ・支援された意思決定
- 体制を組織する方法
- 公式なものから地域のネットワークに力を転換する
- 個々人そして家族、地域社会に力をつける
 - ・ 強制的介入と無能力アプローチに対するオルタナティブを提供する

質問は?

私の参加は以下の団体で共同して援助されました:
障害者団体でNGOのマインドライト財団 www.mindrights.nl
オランダのファミリーグループカンファレンスの組織アイゲンクラフトセンター www.eigen-kracht.nl
精神保健団体GGzE
J. van Os教授/、マーストリヒト大学 精神医学心理学フォカルティ